

セルフモニタリング報告書(令和元年度分)

令和 2年 4月30日

施設名 苦小牧市屋内ゲートボール場
 指定管理者名 ㈱苦小牧エージェンシー
 所管課名 スポーツ都市推進課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	概ね達成	A・B・C・D・E
施設利用者の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	夏期対策により夜間利用者が増加	A・B・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっている課(目標値を設定していないその他の施設)。		A・B・C・D・E
自主事業は計画どおりおこなわれているか。		A・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等の協働・連携に向けた取組が行われているか。	春・秋の大掃除(地域) G・B協会等との機関	A・B・C・D・E
2 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	アンケートで高い数値	A・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	利用者と受付時にコミュニケーションを大事にしている。	A・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	要望等自分達でできるものは即対応	A・B・C・D・E
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか、またその取組は十分か。		A・B・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	見積書を提出させ 妥当な金額かを確認している。	A・B・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。		A・B・C・D・E
4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。		A・B・C・D・E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか(研修等)。	ミーティング等を通して 向上に努めている	A・B・C・D・E
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか(使用料の減免、還付含む)。	適切に処理されている	A・B・C・D・E
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	適正におこなっている	A・B・C・D・E
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	毎月会社に来る税理士に見てもらっている	A・B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	適正に処理	A・B・C・D・E
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	適正に処理	A・B・C・D・E
安全対策(事故防止等)は十分だったか。		A・B・C・D・E
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	適正に処理	A・B・C・D・E
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託先、地域貢献に努めているか。	市の登録業者を最優先として選定	A・B・C・D・E

A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。

- B:目標、事業計画通り又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
C:概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
D:目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容で下回っており、又は管理運営において一部不適切な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
E:目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価



指定管理者の自己評価(全体を通して)

今年度は夏場対策(4月～10月の利用料金半額)に関して、昨年度9:00～17:00までとしていたところを、21:00まで延長した。結果としては新型コロナウイルス対策前までの1月末までの期間では、専用利用者が前年と比べて人員で274名の増、率にして108.9%と夏場の対策は功を奏したと考えられます。

令和元年度は結果として、年間目標人員7,750名に対し6,720名(平成31年2・3月の利用者は、2,198名、令和2年は694名、2ヶ月だけの差が-1,504名)です。

収入目標は、1,830千円に対し1,554千円(平成31年2・3月の収入は595千円、令和2年は83千円で差が-512千円)となり、利用人員・収入とともに目標達成は可能であったと考えています。

例年苦情のあるコートのコロボコですが、今年目標として掲げた手作業によるこまめな整備を毎月数回実施するとともに、年末年始の休館日には会社の応援を得て、ロードローダーによる整地を行った。今年度のアンケート調査では、苦情・要望・意見が少なくなった。

アンケート調査では、「満足」「やや満足」が88.9%(前年85.1%)となり、特に職員の対応については99.9%で[親切・丁寧です]とのことばも多数いただいています。

夏期期間の平日終日時間帯までの専用料金の半額については、[大変ありがたいです・これからも続けてほしい]という意見も寄せられています。

一年を通じ、事故やケガ人もなく、利用人員・利用収入の増、満足度の向上があり、運営できたことは評価できると考えます。